

平成22年度

# 海外福岡県人会子弟招へい事業

◎期間 平成22年7月11日(日)～21日(水)

◎主催 海外福岡県人会子弟招へい事業実行委員会

報告書

## 目次

# Contents

はじめに .....	2
知事あいさつ .....	3
概要 .....	4
参加者名簿 .....	5
全体プログラム日程 .....	7
プログラム内容 .....	8
事業の総評 .....	12
参加者等の感想 .....	13
参加者レポート／子弟 .....	14
参加者レポート／引率者 .....	24
参加者レポート／福岡県移住者子弟留学生 .....	29
福岡県の海外県人会について .....	34
実施要綱 .....	35

# Foreword

## はじめに

平成22年度海外福岡県人会子弟招へい事業には、6カ国9県人会から25名の皆さんが参加されました。

平成20年度から始まりました本事業は、今年で3年目を迎え、今まで参加のなかった県人会の子どもたちも福岡へお迎えすることができました。

参加者の皆さんは、太宰府天満宮や県青少年科学館を視察したり、和太鼓や手すき和紙でのうちわ作り、大島小学校での子ども山笠など様々な日本文化を体験したほか、平尾小学校では授業に参加し、同世代の子どもたちとの交流を楽しみました。また、親戚宅にホームステイした子どもたちは、久々に会った親戚との交流を深め、自分たちのルーツがある福岡について知ることができました。

このプログラムを通して、子どもたちは、日本の文化、生活、習慣に触れ、また福岡の魅力を肌で感じたことで、以前にも増して、福岡県に対する興味が深まったものと確信しております。これを契機に、参加者の皆さんが、もっと日本語を勉強したい、太鼓を習いたい、もう一度福岡に来たいといった思いを強くしてくれることを願っております。

また、参加者の皆さんが、本事業で得た経験を大切に、将来母国の県人会で中心的存在となり、日本・福岡県との更なる友好親善のために活躍していただくことを心から期待しております。

最後に本事業の実施にあたり、ご協力いただきました海外福岡県人会、福岡県移住者子弟留学生、ホストファミリーの皆様及び関係機関に、心から御礼申し上げますとともに、この事業の今後さらなる発展にご支援いただきますようお願い申し上げます。

海外福岡県人会子弟招へい事業実行委員会

実行委員長 西原 徹

# Message

## ごあいさつ

福岡県から海外に移住した方々とその子弟等で組織する「海外福岡県人会」は、世界9カ国、21カ所に設置されています。

海外福岡県人会の皆さんは、これまで、母県福岡への熱い思いを抱きながら、移住国の発展に重要な役割を果たされ、それぞれの国において、確固たる地位を築いてこられました。今日、グローバル化の進展により、地域間交流の重要性が増す中、本県が国際社会で発展していくために理解し、応援してくれる県人会の存在は、本県にとってかけがえない貴重な財産です。そのため、県人会の皆さんと福岡県の絆を強化することは非常に重要であります。



一方、県人会では、会員の高齢化や世代交代の進行に伴い若い世代の県人会に対する関心も薄れ、会員の減少や活動の停滞が懸念されています。このような中、県人会がさらに発展していくためには、活動の核となる若手人材を育成することが大変重要な課題となっています。

本県におきましては、これまで、福岡県移住者子弟留学生の受け入れや周年事業への参加などを通じ県人会の活動を支援してきました。

さらに平成20年度からは、人材育成の支援を目的に、県会会の子弟を福岡に招へいし、日本文化の体験や同年代の子どもたちとの交流を通して、福岡に対する興味・関心を持ち、理解を深めていただく「海外福岡県人会子弟招へい事業」を始めました。

本事業は今年度で3年目を迎え、これまでに80名の参加がありました。

参加した子どもたちが、福岡での体験について目を輝かせて家族や県人会の皆さんに披露しているという話や、福岡への留学を目指して日本語の勉強を始めた子どもたちがいるという話を聞いて大変うれしく思っています。本事業に参加した子どもたちが、福岡県出身者の子弟であることを誇りに思い、将来県人会活動の核として活躍していただくことを大いに期待しています。

本事業の実施に当たりご協力いただきました皆さんに深く感謝を申し上げますとともに、若い世代の育成に引き続きご尽力いただきますようお願いいたします。

福岡県知事

麻生渡

# Outline

## 概要

### 1 目的

海外福岡県人会会員の子弟を福岡県へ招へいし、様々な体験を通じ、福岡・日本に対する関心や興味を高め理解を促すことにより、今後の県人会活動の一翼を担い、福岡・日本との交流の核となる後継者を育成すること、併せて県人会の活性化を図ることを目的としています。

### 2 期間 平成22年7月11日（日）～21日（水）

### 3 招へい者人数 6カ国25名 【内 訳】子弟17名、引率者8名

国名	子弟招へい数	引率者数
ブラジル連邦共和国	9	3
コロンビア共和国	1	1
メキシコ合衆国	1	1
ペルー共和国	2	1
アルゼンチン共和国	2	1
アメリカ合衆国	2	1
合計	17	8

### 4 内容

- (1) 同年代の子どもたちとの交流  
大島小学校、平尾小学校、平尾子ども太鼓との交流
- (2) 福岡の魅力に触れる  
県青少年科学館、福岡市内視察（福岡市民防災センター、山笠見学）、  
北九州市内視察（いのちのたび博物館、小倉城見学）、太宰府天満宮見学等
- (3) ルーツを探る  
親戚・知人宅、福岡県海外移住家族会会員宅へのホームステイ
- (4) 日本文化の体験  
日本語学習、手すき和紙のうちわ作り、和太鼓体験、書道体験

### 5 主催

「海外福岡県人会子弟招へい事業実行委員会」

構成団体：福岡県新社会推進部国際交流局交流第二課、福岡県新社会推進部青少年課、  
福岡県教育庁教育振興部義務教育課、(財)福岡県国際交流センター

事務局：(財)福岡県国際交流センター

共 催：宗像市

後 援：(財)サニックススポーツ振興財団

# Member List

## 参加者名簿

【参加者】 6カ国9県人会から子弟17名、引率者8名が参加しました

No.	県人会名	引率 ／ 子弟	氏名	性別	国名
1	ブラジル 福岡県人会	子弟	あんざい 白井 あや ジュリアナ	女	ブラジル
2			蛸原 仁 ブルーノ	男	
3			三田 ラリッサ	女	
4			松尾 ギリエルメ 秀樹 マガリャンス	男	
5			池田 グスタヴォ ジュン イリザワ	男	
6			恒富 勇太 アウグスト	男	
7			安藤 ガブリエル アウグスト	男	
8			田中 啓仁	男	
9		引率	田中 エリザ 幸恵	女	
10			辻沢 晴香	女	
11	ベレン福岡県人会	子弟	酒井 ゆみ	女	
12	トメアスー 福岡県人会	引率	稲田 明 アウミー	男	
13	コロンビア 福岡県人会	子弟	菊竹 マイケル ダイスケ	男	コロンビア
14		引率	小椋 リリアナ 小夜子	女	
15	メキシコ 福岡県人会	子弟	タナカ アイコ ゴメス	女	メキシコ
16		引率	林田 アナ 春美	女	
17	ペルー福岡クラブ	子弟	イサヤマ サトウ ロドリゴ アロンソ	男	ペルー
18			大内田 竜一	男	
19		引率	ツダ ミヤガワ マリエラ	女	
20	アルゼンチン 福岡県人会	子弟	椎葉 フロレンシア リサ	女	アルゼンチン
21			新門 フェリクス 晃	男	
22		引率	高嶋 久子	女	
23	ハワイ島 福岡県人会	子弟	林 ジョイ マリッサ	女	アメリカ
24		引率	クック シルヴィ	女	
25	南加福岡県人会	子弟	野中 瑠美	女	

## 【福岡県移住者子弟留学生】

No.	県人会名	氏名	性別	国名
1	ブラジル福岡県人会	清水 エステバン 博史	男	ブラジル
2		松延 多美	女	
3		内田 シベリ	女	
4		今村 フラヴィオ アキラ	男	
5		中村 イアラ 明美 デ アルメイダ	女	
6	在ボリビア福岡県人会	緒方 ディアナ おさえ	女	ボリビア
7	ペルー福岡クラブ	真壁 川原 ヘラルド 幹夫	男	ペルー

「福岡県移住者子弟留学生とは」…専門の知識と、日本、そして福岡県についての理解を深めるために、福岡県内の大学に1年間留学している海外福岡県人会の子弟。

## 【活動グループ】

参加者と福岡県移住者子弟留学生で6つの活動グループを作り、プログラムに臨みました。

A グループ	子弟：蛭原 仁 ブルーノ 安藤 ガブリエル アウグスト 田中 啓仁	引率者：田中 エリザ 幸恵 留学生：今村 フラヴィオ アキラ 内田 シベリ
B グループ	子弟：松尾 ギリエルメ 秀樹 マガリャンス 池田 グスタヴォ ジュン イリザワ 恒富 勇太 アウグスト	引率者：辻沢 晴香 留学生：清水 エステバン 博史
C グループ	子弟：酒井 ゆみ あんざい 白井 あや ジュリアナ 三田 ラリッサ	引率者：稲田 明 アウミー 留学生：松延 多美
D グループ	子弟：椎葉 フロレンシア リサ 新門 フェリクス 晃 菊竹 マイケル ダイスケ	引率者：高嶋 久子 小椋 リリアナ 小夜子 留学生：緒方 ディアナ おさえ
E グループ	子弟：イサヤマ サトウ ロドリゴ アロンソ 大内田 竜一 タナカ アイコ ゴメス	引率者：ツダ ミヤガワ マリエラ 林田 アナ 春美 留学生：真壁 川原 ヘラルド 幹夫
F グループ	子弟：林 ジョイ マリッサ 野中 瑠美	引率者：クック シルヴィ 留学生：中村 イアラ 明美 デアルメイダ

# Schedule

## 全体プログラム日程

期日	時間	内容	宿泊場所
7/11 (日)		入国（ブラジル・アルゼンチン以外）	グローバルアリーナ
12 (月)	午前	入国（ブラジル・アルゼンチン）	グローバルアリーナ
	午後	オリエンテーション	
13 (火)	終日	太宰府天満宮・福岡市内見学	グローバルアリーナ
	夜	歓迎会	
14 (水)	終日	北九州市内見学	グローバルアリーナ
15 (木)	終日	大島小学校との交流	グローバルアリーナ
16 (金)	終日	平尾小学校との交流	グローバルアリーナ
		平尾子ども太鼓との交流	
17 (土)	午前	八女伝統工芸館	ホームステイ
	午後	県青少年科学館	
		ホストファミリーとの対面式	
18 (日)	終日	ホストファミリーとの交流	ホームステイ
19 (月・祝)	終日	ホストファミリーとの交流	ホームステイ
20 (火)	午後	送別会	グローバルアリーナ
		県副知事表敬	
		県議会議長表敬	
21 (水)		出国	



# Program

## プログラム内容

平成22年7月11日(日)～21日(水)

<p>第1日目 ～ 第2日目 午前中</p>	<p>11日(日) 12日(月)</p>	<p>◎入国 6カ国(ブラジル・アルゼンチン・コロンビア・メキシコ・ペルー・アメリカ)から子弟17名、引率者8名が来福しました!</p>
<p>第2日目</p>	<p>12日(月)</p>	<p>◎午後：オリエンテーション 参加者とスタッフの自己紹介のあと、滞在中の諸注意を皆で確認しました。また、福岡県の現状や日本のマナー、日本語を学習しました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="472 779 783 1003">  <p>滞在先のグローバルアリーナにて</p> </div> <div data-bbox="807 779 1118 1003">  <p>オリエンテーション</p> </div> <div data-bbox="1142 779 1453 1003">  <p>夜はバーベキューを楽しみました</p> </div> </div>
<p>第3日目</p>	<p>13日(火)</p>	<p>◎終日：太宰府天満宮・福岡市内見学 太宰府天満宮、福岡市民防災センター、川端商店街などを訪れました。また、博多祇園山笠の山車も見ることができました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="512 1249 743 1552">  <p>太宰府天満宮</p> </div> <div data-bbox="807 1328 1118 1552">  <p>福岡市民防災センターで震度6強の揺れを体験しました</p> </div> <div data-bbox="1182 1249 1414 1552">  <p>博多祇園山笠の山車の前で</p> </div> </div> <p>◎夜：歓迎会 歓迎会には、福岡県海外移住家族会の皆さんもいらっしゃいました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="472 1760 783 1984">  <p>自己紹介</p> </div> <div data-bbox="807 1760 1118 1984">  <p>参加者代表挨拶</p> </div> <div data-bbox="1142 1760 1453 1984">  <p>歓迎会ご出席の皆さんと</p> </div> </div>

<p>第4日目</p>	<p>14日(水)</p>	<p>◎午前：いのちのたび博物館</p> <p>約4,500点の動植物標本や化石、レプリカなどが展示されており、恐竜の等身大全身骨格には、圧倒されました。</p> <p>また、石膏を使って、アンモナイトの化石レプリカ作りも体験しました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>化石レプリカ作り</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>恐竜の化石がたくさん ありました</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>博物館の前で</p> </div> </div>
		<p>◎午後：北九州市内見学</p> <p>小倉城見学の後、リバーウォークで買い物をしました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>昼食にうどんを食べました</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>小倉城見学</p> </div> </div>
<p>第5日目</p>	<p>15日(木)</p>	<p>◎終日：大島小学校との交流</p> <p>大島小学校の皆さんの温かい歓迎を受け、一緒にお昼ご飯を食べた後、大島山笠に参加させていただきました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>記念品交換</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>大島山笠体験</p> </div> </div>

第6日目 16日(金)

◎終日：平尾小学校との交流

平尾小学校で、書道や折り紙、算数の授業など、小学校の生徒と一緒に、日本の小学校の一日を体験させていただきました。また、交流の様子がNHKで放送されました。



書道体験



折り紙体験



給食

◎夕方：平尾子ども太鼓との交流

平尾子ども太鼓のメンバーと一緒に、和太鼓を体験しました。



一生懸命、練習をしました

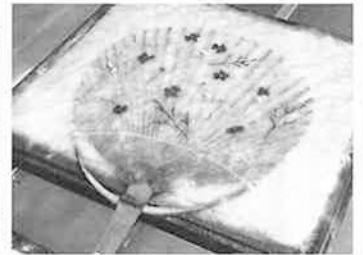


平尾子ども太鼓の皆さんと

第7日目 17日(土)

◎午前：八女伝統工芸館

手すき和紙のうちわを作りました。色とりどりの草木を使って、それぞれがオリジナルのうちわを作ることができました。



◎午後：県青少年科学館

久留米市にある県内唯一の地球をテーマとする科学館を見学しました。



<p>第7日目</p> <p>17日(土)</p>	<p>◎夕方：ホストファミリーとの対面式</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>初めて会う親戚や、久しぶりの家族と一緒に。</p>
<p>第8日目 ～ 第9日目</p> <p>18日(日) ～ 19日(月)</p>	<p>◎終日：ホストファミリーとの交流</p>	
<p>第10日目</p> <p>20日(火)</p>	<p>◎昼：送別会 ホストファミリーの皆さんが送別会に来てくれました。</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>招へい者代表挨拶</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ホストファミリーと一緒に</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <p>◎午後：海老井福岡県副知事表敬訪問・田中福岡県議会議長表敬訪問</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>海老井悦子副知事表敬にて</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>田中秀子県議会議長をはじめ 県議会議員の皆さんと一緒に</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>県議会議場にて</p> </div> </div>
<p>第11日目</p> <p>21日(水)</p>	<p>◎出国 11日間のプログラムを終え、別れを惜しみながら全員無事に帰国しました。</p>	

# Evaluation

## 事業の総評

この事業は、参加した子どもたちが、①同年代の子どもたちと交流する ②福岡の魅力に触れる ③ルーツを探る ④日本文化を体験する等を経験することで、福岡・日本に対する興味・理解を深め、将来は県人会活動を推進するリーダーに育ててもらうことを目的としている。

今年度の事業の参加者数は、6カ国9県人会25名と、前年度に比べ参加人数は減少したが、これまでに参加の無かった県人会からも参加があり、PR用DVDの作成など広報を強化した効果が見られる。また、今年の引率者8名の中には、福岡県移住者子弟留学生として来福経験のある引率者が4名おり、元留学生が母国へ帰ってから各県人会の活動へ参加し、後継人材として育ててきていることがわかった。

11日間の福岡滞在中、様々なプログラムを実施したが、事業後のアンケートによると、小学校訪問や和太鼓グループとの交流など、同年代の子どもたちと一緒に、一つのことを体験するプログラムの人気が高く、言葉が通じなくても一生懸命にお互いの意思を汲み取ろうとする姿勢が見られた。

また今回は、ほとんどの参加者が親戚宅にホームステイをしたことにより、自分の祖先について学び、自身のルーツを深く探ることができたようだ。

各県人会から福岡に留学している福岡県移住者子弟留学生は、この事業の期間中、子どもたちのお兄さん、お姉さんとなり、身の回りの世話や言葉のサポートをして、子どもたちの大きな支えとなっていた。留学生たちのおかげで、子どもたちもホームシックにかかることもなく、プログラム期間を有意義に過ごすことができたようだ。また、留学生とふれあうことで、日本語をもっと勉強して自分たちも将来留学生として福岡県に戻ってきたいという思いを強くした子どもも多く、この点も本事業の成果の一つと言える。

この事業には、子どもたちを中心に、その保護者、引率者、福岡県移住者子弟留学生、県人会や福岡県海外移住家族会など、多くの人関わっている。様々なプログラムを通して、子どもたちが成長することが、引率者をはじめ、全ての関係者に素晴らしい影響を与え、この事業の大きな成果となったと考える。

今後、このような重層的な交流を継続していくことで、次世代の県人会の担い手が育っていくことが期待される。

# Comments

## 参加者等の感想

### 子どもたちからの感想

- 多くの親戚と会うことができ、言葉は通じなくても心で通じ合う喜びを感じることができた。
- また日本へ行く機会があれば、日本の友達と日本語で会話ができるようになりたい。
- 今回、日系人は世界中に住んでいることを知り、同じルーツを持った人たちに会うことができ嬉しかった。
- 今回いろいろな国から参加した子どもたちと友達になることができ、他国についても知ることができた。
- 日本人は伝統的な生活習慣や文化を、古くから受け継いで、大切に守っていることに感動した。
- 平尾小学校を訪問した際は、給食の時間に生徒たちが自ら進んで準備をする姿を見て、日本の友達は立派だなと感心した。
- これから一生懸命に日本語を学び、将来、福岡県移住者子弟留学生として福岡で勉強をしたいと思っている。

### 保護者からの感想（帰国した子どもの様子から）

- 言語の壁があったにもかかわらず、たくさんの友達ができ、その友達と帰国後もメールなどで連絡をとりあっていることをとても嬉しく思う。
- 何に対しても自ら進んでやることはなかった子どもが、帰国後から少しずつ自発的になってきた。
- 家では母国語を話すことが多かったが、今では日本語をよく使うようになった。
- 今回のプログラムに参加して成長し自信を得て、より社交的になったようだ。
- 帰国後は、相手を尊敬しコミュニケーションを大切にするようになったと感じる。
- もう一度日本へ行きたいという夢ができたようで、日本語の勉強を頑張ることを約束してくれた。
- このプログラムのお陰で、日本への興味や日本語を学ぶ意欲が出てきている。

### 引率者からの感想

- 子どものためのプログラムだが、引率者も一緒に楽しむことができ、様々な場所を見学し福岡の文化も学ぶことができた。
- 日本の子どもたちも体験することができない素晴らしいことをたくさん体験でき、一生の宝物になると思う。
- このプログラムを通して、子どもたちは日本文化や習慣に興味を持つようになった。
- 期待以上に素晴らしかった。いろいろな国の人たちと交流ができ、これからも連絡を取り合いたい。
- このプログラムに参加したことで、福岡を好きになり、もっと県人会活動に参加しようという気持ちが湧いてきた。

# Commemorative

感謝の巻頭語

# Report

## 参加者レポート【子弟】

# A グループ



安藤 ガブリエル アウグスト

ANDO GABRIEL AUGUSTO



【ブラジル福岡県人会】

## 「プログラムで得たこと・学んだこと」

日本文化をたくさん学ぶことができました。今回、初めて食べる物や、飲み物があり嬉しかったです。太宰府天満宮へ行った時は、ブラジルには似たような建物が無いので驚きました。八女伝統工芸館では、うちわの作り方を教えてもらいました。市民防災センターでは、火事、地震、雨風に対する注意などいろいろ習いました。小学校交流では、私の国の小学校との違いを学びました。教室の掃除や昼食の片付けを生徒がしていたので、驚きました。

また、今回いろいろな国から参加していた子どもたちと友達になることができ、他国についても知ることができました。日本へ行ったことは素晴らしい経験となりました。

## ～親御さんからのメッセージ～

息子は、今回このプログラムに参加することができ、日本文化を学び帰国できたことを、この上なく幸せだと喜んでます。私共、両親および家族も感謝しております。

息子がこのプログラムに参加するにあたり、自分自身で物事を判断し、実行してきたことで、彼自身の成長に繋がったと思います。これからの息子の成長に期待したいと思います。

## 「プログラムで得たこと・学んだこと」

日本の小学校は、ブラジルの小学校と大きな違いがありました。私たちが行った小学校では、教室内で昼食を食べ、各自が飲み物を持参して飲んでいました。僕は日本がとても好きになりました。このプログラムをこれからも続けて欲しいと思います。

## ～親御さんからのメッセージ～

息子は帰国後、ブラジルを出発するときよりも親切心が増し、物わかりが良くなったようです。彼が日本で出会った日本人の子どもたちや、他の国から参加した同じ日系人子弟たちと出会うことができたこのプログラムが、彼にとっては素晴らしい経験となったのだと思います。また、このプログラムを通して息子は、日本人や日系人は、ブラジルや日本だけではなく、あらゆる国にいるということ、また同じ言語を話せなくても、一緒に交流ができるということを知る、大切な機会となりました。多くの日系人子弟たちに、日本を知る素晴らしい経験をさせるためにも、これからもこのプログラムを続けてほしいと思います。そして今回、息子に福岡を訪れる素晴らしい機会を与えてくださった福岡県に、とても感謝しています。どうもありがとうございました。

# A グループ



蛸原 仁 ブルーノ

EBIHARA HITOSHI BRUNO



【ブラジル福岡県人会】



## A グループ



田中 啓仁

TANAKA KENNY



【ブラジル福岡県人会】

### 「プログラムで得たこと・学んだこと」

今回、いろいろな国から来た子どもたちと友達になれたことがとても良かったです。このプログラムで、神社や科学館、お城を見に行きました。小学校を訪れ、大島小学校では山笠に参加し、平尾小学校では、書道、折り紙、ゲームをしました。和太鼓グループとの交流では、彼らが演奏を披露してくれた後、僕たちに太鼓を教えてくださいました。また、八女伝統工芸館では、押し花でうちわを作りました。僕はブラジルでそのうちわを使っています。ホームステイでは、祖父母に会い、祖父母の家に3日間泊まりました。プールに行ったり、野球を見に行ったりしました。

このプログラムは、全て良かったので、どれが一番良かったか順番がつけられません。僕が日本に行った話をブラジルの友達にしたら、みんな日本に行きたいと言っていました。

### ～親御さんからのメッセージ～

息子が帰国した後、「ケニーくんは、私が日本語で話すことを良く理解していました」「良くみんなのお世話をしてくれました」など、皆さんから息子のいろいろな話を聞きました。日常生活では、親の目からは見えていなかった息子の新たな一面を知ることができました。息子がブラジルに帰ってきてから、日本語能力試験4級（現N5）の過去問題を少しやらせてみました。問題の中にあっただ自己紹介や「ぜひ家に遊びに来てください」などの文章を見て、「福岡で良く聞いていた言葉だ」と言って、試験の問題を解いていました。彼の耳には、日本で聞いた言葉が残っているようです。

このプログラムに参加した後は、息子の日本に対する興味は更に深くなり、同時に親自身もこのプログラムのおかげで、息子の新たな一面も発見でき、これからの家庭教育に新たな道しるべを作ってくれたように思います。本当にありがとうございました。

## B グループ



池田 グスタヴォ ジュン イリザワ

IKEDA GUSTAVO JUN IRIZAWA



【ブラジル福岡県人会】

### 「プログラムで得たこと・学んだこと」

このプログラムに参加して、とても素晴らしい日本文化を体験することができました。小学校交流では、小学生たちがそれぞれ協力をして、学校で生活をしていたことが素晴らしいと思いました。

### ～親御さんからのメッセージ～

息子は、プログラムに参加する前よりも自信を得て帰ってきました。親から離れて日本でのプログラムに参加し、彼にとってはとても大切な体験になったと思います。彼がこのプログラムで得た体験や知識が、自信に繋がったのだと思います。

また、他の国から参加した、言葉の通じない子どもたちとも友達になることができ、とても楽しんだようです。私はこのプログラムが、息子のこれからの人生に特別な影響を与えるということを確認しています。この特別な人生経験を与えてくださった福岡県知事や県人会の皆様方に本当に感謝いたします。

## B グループ



恒富 勇太 アウグスト

TSUNETOMI YUYUTA AUGUSTO



【ブラジル福岡県人会】

### 「プログラムで得たこと・学んだこと」

日本はとても良かったです。いろいろな日本の物を見ることができました。

ホームステイの時は、親戚の人に海や水族館に連れて行ってもらいました。また、プログラムの中では、日本の小学校へ行き、習字を体験できたことが楽しかったです。そして、お昼ご飯には、小学生と一緒に給食を食べることができました。とても賑やかな時間でした。機会があれば、また日本へ行きたいです。

### ～親御さんからのメッセージ～

息子は、すっかり日本が好きになり「日本はとても良かった」と帰って参りました。帰国した勇太の様子を見て、この素晴らしいプログラムを企画して下さった関係者の方々に感謝しております。

彼は普段は無口な子どもで、まだあまり話はできていませんが、少しずつ日本での楽しかった話を話してくれます。言葉に出さなくても、彼が日本で体験した喜びはすごく伝わってきます。また、このプログラムに参加したことで、自信がついたようです。ありがとうございました。

## B グループ



松尾 ギリエルメ 秀樹 マガリャンス

MATSUO GUILHERME HIDEKI

MAGALHAES



【ブラジル福岡県人会】

### 「プログラムで得たこと・学んだこと」

この度、このプログラムに参加することで、ブラジルと全く違う多くの日本文化を知ることができ、祖父の祖国を知る良い機会となりました。また、ホームステイでは、父方の家族と会うことができました。また、プログラム中には、和太鼓や書道、日本の小学校を訪問したことなど、日本・福岡の文化や活動を体験することができました。

### ～親御さんからのメッセージ～

このプログラムに参加したことで、彼の日本語を勉強する態度が変わり、日本文化や習慣、歴史について話をするようになりました。そして将来、ブラジルだけではなく、外国で仕事をするという選択肢があることにも気づけたようです。

## C グループ



あんざい 白井 あや ジュリアナ

ANZAI USSUI AYA JULIANA



【ブラジル福岡県人会】

### 「プログラムで得たこと・学んだこと」

日本に行くことができ本当に良かったです。新しい友達がたくさんできました。このプログラムに参加した子どもたちだけではなく、日本の子どもたちとも仲良くなりました。私は、曾祖父母が生まれた国、日本は素晴らしいところだとわかりました。ホームステイ期間中に会うことができた親戚たちは、みんな親切でした。今回、多くの人のおかげで、日本に行くことができたことを心から感謝しています。日本語を勉強したいという気持ちが、もっともっと強くなりました。また日本に行きたいと思っています。どうもありがとうございました。

### ～親御さんからのメッセージ～

日本へ行く前から、娘は日本と日本文化について興味を持っていました。プログラムから帰ってきてからは、日本の美しさと日本の小学校教育にとっても驚いていました。特に小学校の子どもたちと仲良くなれて良かったと言っていました。このプログラムに参加したことで、娘の曾祖父母の国、日本への憧れが、以前より増したようです。本当にありがとうございました。

## C グループ



三田 ラリッサ

MITA LARISSA



【ブラジル福岡県人会】

### 「プログラムで得たこと・学んだこと」

このプログラムに参加できたことで、日本人の仕草、習慣など多くの新しいことを学ぶことができ、本当に素晴らしい機会となりました。日本で驚いたことは、道路にゴミが落ちていなかったことです。ブラジルや他の国では、まだたくさんのゴミが道路に落ちています。道が汚れているため、雨が降ると、大勢の人たちが汚い水に浸かってしまい、悪い病気にかかり死ぬこともあります。日本はとてもきれいで安全な国だと思いました。また、このプログラムでは、たくさんの良いことを学びました。その1つは、曾祖父母や親戚が生まれ育った福岡に来ることができ、ブラジルとは違う生活を送っていたということがわかったことです。福岡での生活は、何もかもが私のブラジルでの生活と違うように感じ、とても不思議でした。

### ～親御さんからのメッセージ～

昨年、ラリッサの兄がこのプログラムに参加させていただきました。娘は兄から福岡での様々な話を聞き、とても期待しながら今回参加しました。帰国した彼女は、「予想していた以上に素晴らしかった」と言っていました。福岡で訪れたところ、見たこと、聞いたこと、日本の子どもたちとの触れ合いなどについて、今でも休まず立て続けに話してくれます。そして、福岡で見た日本人とブラジル人の習慣の違いを比べながら生活をしています。この経験は、彼女自身を成長させる機会となりました。今度は福岡県移住者子弟留学生として福岡へ行きたいそうです。その為には、ものすごく努力が必要だと思いますが、私は応援したいと思います。このプログラムを企画された方々へ心から感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

## C グループ



酒井 ゆみ  
SAKAI YUMI



【ベレン福岡県人会】

### 「プログラムで得たこと・学んだこと」

日本人は、尊敬する心を持っている人たちだなと思いました。ブラジルや他の国の人々も、その心を見習い、生活に活かすことができれば良いなと思いました。また、日本人は伝統的な生活習慣や文化を、受け継いで大切に守っていることに感動しました。このプログラムに参加し、福岡の様々な場所を訪問して学んだ知識や経験は、私の人生で一生忘れることができない大切な思い出となりました。ありがとうございました。

### ～親御さんからのメッセージ～

このプログラムに参加し、帰国した娘を見て、とても変わったことに気づきました。帰国してからは、相手を尊敬しコミュニケーションを大切にできるようになったと感じます。また、将来のことも真剣に考えるようになっています。これからは、日本語を一生懸命勉強し、日本文化や生活習慣について学び、将来、福岡県移住者子弟留学生として、福岡へ留学したいと思っています。大変お世話になりました。ありがとうございました。

## D グループ



菊竹 マイケル ダイスケ  
KIKUTAKE MICHAEL DAISUKE



【コロンビア福岡県人会】

### 「プログラムで得たこと・学んだこと」

このプログラムに参加して、僕の祖母の国である日本へ行くことができたことは、僕にとって人生で初めての大きな体験でした。たくさんの友達を作ることができました。日本人は規則正しく、お互いを尊敬し、また、日本は安心して住める国だと思いました。多くの親戚とも会うことができ、言葉は通じなくても心で通じ合う喜びを感じました。コロンビアでは、日本語学校での授業中は日本語を話しているし、敬老会で芝居をする時の台詞は日本語で全部言うことができたのに、このプログラムで実際に日本に来て、日本語で会話をしようとすると、戸惑うことばかりでした。これからは心を入れ替えて、日本語の勉強をたくさんして、また日本へ行きたいです。多くの人にお世話になり、本当にありがとうございました。

### ～親御さんからのメッセージ～

このたび、私の孫のダイスケに素晴らしい機会をいただきまして、私たちの夢が叶い、大変嬉しく感謝しています。彼はこのプログラムに参加した後、とても大人になったような感じがいたします。

私の代が終わったら、誰が故郷である福岡と繋がり続けてくれるのかと案じ、この孫だけは日本語で話ができるようにと、日本語学校に入学させました。今回の体験で、彼にはもう一度日本へ行きたいという夢ができ、日本語の勉強を頑張ることを約束してくれました。孫の夢が実現するように、私も一生懸命応援する覚悟でございます。国際交流センターの皆様、そして、県人会の皆様にもいろいろとお世話になりました。これから少しでも皆様のお役に立てますように、孫と共に頑張ります。ありがとうございました。

## D グループ



椎葉 フロレンシア リサ

SHIIBA FLORENCIA LISA



【アルゼンチン福岡県人会】

### 「プログラムで得たこと・学んだこと」

海外福岡県人会子弟招へいプログラムに参加させていただき、ありがとうございました。福岡では様々な場所に行くことができました。福岡市民防災センターでは、地震、台風、火事などを体験して、日本は災害が多いことがわかりました。また、いのちのたび博物館では、恐竜の模型などを見て回り、大昔にタイムスリップしたような気分になりました。また、今回、2つの小学校を訪問することができました。大島小学校にはフェリーで行き、大島山笠に参加して、みんなと一緒にお神輿を「わっしょい、わっしょい」と担いだことが楽しかったです。平尾小学校では習字や折り紙を経験しました。給食の時間には、生徒たちが自ら進んで準備をする姿を見て、日本の友達は立派だなと感心しました。全ての訪問先が、日本でしか見られないもの、経験できないものばかりで素晴らしいかったです。今回の日本行きは、私にとって、とてもためになりました。

### ～親御さんからのメッセージ～

娘を海外福岡県人会子弟招へいプログラムに参加させていただきまして、ありがとうございました。いろいろな体験をしたり学んだりして素晴らしい経験をしたことは、一生忘れないと思います。

何に対しても自ら進んでやることはなかった娘が、帰国後から少しずつですが、自発的になってきました。また、家ではスペイン語を話すことが多かったのですが、今では日本語をよく使うようになりました。これも皆様のおかげだと思います。短い間でしたが、本当に良い経験であったと心から感謝しています。福岡県のますますの発展を願っています。

## D グループ



新門 フェリクス 晃

NIIKADO FELIX AKIRA



【アルゼンチン福岡県人会】

### 「プログラムで得たこと・学んだこと」

今回私に、曾祖父母が生まれた福岡県を訪問する機会を与えてくださりまして、福岡県の皆様に大変感謝しています。このプログラムはとても楽しかったです。その中でも、私は小学校交流がとても好きでした。小学校で生徒たちと一緒に掃除をしたことや、太鼓交流をしたこと、お神輿をかついでお祭りに参加したことが印象的です。また、日本のおいしい食べ物、ホストファミリーの方、日本で出会った全ての人々が素晴らしいかったです。このプログラムを通して、日本語を少し学ぶことができたし、どのように日本人が生活しているのかがわかりました。このプログラムに携わった全ての人々に感謝しています。

### ～親御さんからのメッセージ～

初めに、このプログラムに息子が参加する機会を与えてくださりました福岡県の皆様に、深くお礼を申し上げたいと思います。息子が母国を出発する際は、先祖の国である日本に、深く興味を示していました。帰国後は、とても喜んでいると同時に、もっと日本文化と日本語を学びたいと話しています。

E

グループ



イサヤマ サトウ ロドリゴ アロンソ

ISAYAMA SATO RODRIGO ALONSO



【ペルー福岡クラブ】

### 「プログラムで得たこと・学んだこと」

今回、このプログラムに参加出来たことは、僕の人生の中で一番良い経験となりました。曾祖父の出身地を知ることができ、きれいで近代的な街である福岡を訪問できました。ペルーの小学校の授業で福岡県について調べた時に、祇園山笠についての本を読みました。今回、実際に地元の子どもたちと一緒にお神輿をかついで祭りに参加することが出来たことは、とても嬉しかったです。また、太宰府天満宮の見学では、日本の神社や日本の宗教について、少しですがわかるようになったと思います。その他にも、習字、折り紙、和紙でのうちわ作り、和太鼓体験など、このプログラム全てが忘れられない経験になりました。これからは、日本語を勉強したいと思っています。また日本へ行く機会があれば、日本の友達と日本語で会話ができるようになりますようにたいです。

### ～親御さんからのメッセージ～

初めに、息子をこのプログラムに参加させていただいたことに感謝いたします。このプログラムのお陰で、帰国した息子には、日本への興味や日本語を学ぶ意欲が出てきています。このプログラムは、彼にとって大きな経験となり、少し大人になったように感じます。息子は、自分には学ぶことがまだまだたくさんあるということ、一生懸命働かなければ、自分の目標を達成することはできないということがわかったようです。日本人のように心温かく勤勉で、相手を尊重する心を持つ人にならなければ、日本のようにきれいな国は作れないのだと、彼はよく話しています。彼には言語の壁があったのにもかかわらず、たくさんの友達ができて、その友達と帰国後も、メールなどで連絡をとりあっていることを、とても嬉しく思います。

E

グループ



大内田 竜一

OUCHIDA RYUICHI



【ペルー福岡クラブ】

### 「プログラムで得たこと・学んだこと」

このプログラムに参加したことで、いろいろな日本文化や生活習慣を学ぶことができ、とても良かったです。他の国からの参加者たちとも仲良くなることができ、新しい友達がたくさんできました。ぜひまた日本へ行ってみたいです。この貴重なプログラムに参加することができ、ペルー福岡クラブのみなさんにはとても感謝をしています。また、私のホストファミリーになってくださいました、吉永さんにも大変お世話になりました。本当にありがとうございました。

### ～親御さんからのメッセージ～

まず初めに、このような素晴らしいプログラムに参加する機会を息子に与えてくださいました、ペルー福岡クラブの皆様と、日本で子どもたちの世話をしてくださいました方々に、心より感謝申し上げます。子どもたちにとって、日本・福岡を訪れ、観光をしたり、日本文化体験をさせていただいたり、日本の伝統行事に参加したりしたことは、とても良い経験になったと思います。息子は、他の国から参加した子どもたちと友達になることができ、とても喜んでます。この経験は彼にとって、かけがえのない良い思い出になったと思います。本当にありがとうございました。

E

グループ



タナカ アイコ ゴメス

TANAKA AIKO GOMEZ



【メキシコ福岡県人会】

### 「プログラムで得たこと・学んだこと」

このプログラムでは、日本人の普段の生活を知ることができ、また、福岡出身の祖父母が今まで持ち続けている文化について理解することができました。私は和太鼓交流がとても好きでした。グループの子どもたちが演奏してくれた後、太鼓の叩き方を私たちに教えてくれました。とても難しかったですが、段々慣れてきました。また、平尾小学校では、小学校のお友達が書道や折り紙を教えてくれました。今後も日系人子弟たちのために、このプログラムを続けてほしいと思っています。そしてまたいつか、私は日本に戻る時のために、日本語の勉強を続けようと思っています。私に日本を訪れる機会を与えてくださり、本当にありがとうございました。

### ～親御さんからのメッセージ～

帰国した娘を見ていると、何か決める際にとっても成長したなと感じます。日本文化や規律といったものを体感したことが、意思決定をする際に良い影響を与えているのだと思います。このことはこれから先、勉強やスポーツ、文化など、娘の人生の様々な面において役に立ってくると思います。皆さまのご支援とお心遣いに、心より感謝申し上げます。

F

グループ



野中 瑠美

NONAKA RUBY



【南加福岡県人会】

### 「プログラムで得たこと・学んだこと」

初めに、この素晴らしいプログラムに参加させていただきありがとうございました。私が一番楽しかったのは、小倉城の見学です。昔、お殿様が乗っていた駕籠（かご）に乗ることができました。また、大島小学校交流では、フェリーで島に渡り、記念品を交換したり、お昼ご飯を小学生と一緒に食べたり、お祭りにも参加しました。お神輿を担いでいるときに、近所の方々が私に水をかけてきたことが、とても楽しかったです。また、和太鼓を演奏する体験もできました。和太鼓はこれからもっと練習をして上手になりたいです。そして八女伝統工芸館で、手すき和紙でうちわを作ったことも、とても楽しい体験でした。このプログラムで、様々な国から来た参加者と友達になることができ、素晴らしい経験になりました。私は将来、福岡県移住者子弟留学生として、福岡で勉強をしたいと思っています。

### ～親御さんからのメッセージ～

2年前、瑠美の姉が同じプログラムに参加させていただき、それ以来ずっと瑠美も参加したいと言っており、今回は自ら望んでの参加でした。11歳の子どものがホームシックにならずに過ごせるのかどうか心配でしたが、福岡では毎日が充実していたようです。娘が帰ってきたときの印象は「大人っぽくなった？」です。親の私たちだけではなく、彼女の仲の良い友達も同じことを言っていました。短い期間でしたが、一人旅が彼女に自信をつけさせたのだと思います。また、気をつけて自分なりに日本語を話すよう努力をしているのわかります。将来、今回のプログラムに参加されたお子さんたちと再会し、思い出を分かち合える日が来ることを望んでおります。



林 ジョイ マリッサ

HAYASHI JOY MARISSA



【ハワイ島福岡県人会】

## 「プログラムで得たこと・学んだこと」

私は、このプログラムで自分の祖先の歴史や日本文化について、多くのことを学びました。また、今回2つの小学校を訪問して、ハワイと日本の小学校を比べることができました。例えば、日本の小学校の授業時間はハワイよりも長く、日本の生徒は皆、歩いて登校し、昼食は食堂ではなく教室で食べます。また、学校の中では上履きを履いていることもハワイとは違いました。また今回、私は世界中から来た参加者と出会えて嬉しかったです。私はあまり日本語を話すことができないので、コミュニケーションは大変でしたが、多くの参加者が2ヶ国語以上の言葉話しているのを見て、「アメリカ人は外国語があまり得意ではない」ということに気づきました。また、私は、多くの日系人がハワイに住んでいることを知っていましたが、今回、日系人は世界中に住んでいることを知り、同じルーツを持った人たちに会うことができ嬉しかったです。そして、自分の日本語をもっと上達させて、福岡で出会った福岡県移住者子弟留学生のように、私も将来日本で勉強したいと思いました。福岡で新しい友人を作り、一生心に残る思い出を作る機会を与えてくださり、本当にありがとうございました。

## ～親御さんからのメッセージ～

このプログラムが始まる前、娘は楽しみな反面、同時に親から離れて日本語もあまり話せない状況の中、初めて会う参加者と過ごすことに対して、多少不安だったようです。しかし、旅行から帰ってきた彼女はとても興奮していて、彼女が行った場所や経験したことについて、事細かに話しをしてくれました。娘は今回のプログラムに参加して成長し、自信を得て、より社会的になったようです。彼女は、世界中から参加した「福岡にルーツを持つ」という共通点を持った人たちに出会うことができ、特に、福岡県移住者子弟留学生の方がお世話をしてくれたことをとても喜んでおり、自分も大きくなったら福岡で同じように勉強したいと考えているようです。私たちの娘に、この貴重な意味のある経験をさせていただき、このプログラムに対する感謝の気持ちは、言葉では言い表すことができません。このプログラムがこれからも継続され、子どもたちが価値ある教育的体験をすることができることを願っております。ありがとうございました。



【出立準備・入居準備・学業のこと】



Faded text in the top section, likely introductory text for the report.

# Report

## 参加者レポート【引率者】

Main body of faded text surrounding the central title and header.

【全米国旗デザイン】



【出立準備・入居準備・学業のこと】



Faded text in the middle section, likely the start of a participant's report.

野中 瑞実



【全米国旗デザイン】

Faded text in the bottom section, likely the end of a participant's report.

# A グループ



田中 エリザ 幸恵  
TANAKA ELIZA YUKIE



【ブラジル福岡県人会】

ブラジルの8人の子どもたちの引率者として参加しました。海外へ行くことが初めての子どもが多かったため、とても責任を感じていましたが、時間がたつと同時に子どもたちの個性、優しさを知ることができ、とても良い経験となりました。また、今回プログラムに参加した子どもたちは、国籍や言葉が違ってもすぐに仲良くなり、助け合い、楽しい日々を過ごしていました。

このプログラムで印象深かったことは、平尾小学校で過ごした一日です。日本の小学生は、できることは自分たちでやり、友達と助け合い、お互いを尊敬し合っていることに感動しました。「日本の学校のようにブラジルでも同じ学校生活を送ることができれば、もっと勉強をする気になれる」「将来日本語を学んで留学したい」などと子どもたちは言っていました。また、和太鼓グループとの交流では、言葉が通じなくてもグループの子どもたちと友達になることができました。子どもたちは「ブラジルでも太鼓を習って上手になりたい」と言っていました。ホームステイでは、今まで知らなかった親戚が遠い日本で私たちを温かく迎えてくれたことに感動しました。お世話になった方々へ心から感謝いたします。

# B グループ



辻沢 晴香  
TSUJISAWA SEIKA



【ブラジル福岡県人会】

このたびは、福岡県のおかげで、多くのことを学ぶことができたことに感謝しています。今回参加した子どもたちも、いろいろなことを学ぶことができ、楽しかったと思います。

福岡市民防災センターでの台風や地震の体験では、自然の恐ろしさを感じ、とても勉強になりました。また、平尾小学校での交流では、子どもたちは各組に数人ずつ分かれて、小学生たちと一緒に授業に参加させていただきました。授業中にわからないことがあると、日本の小学生たちがすぐに助けてくれて教えてくれている風景は、ブラジルにはないもので、とても興味深かったです。日本での食事大変美味しく、特にうどんとお寿司は最高でした。また、日本の伝統工芸や神社仏閣など、日本の歴史の古さや素晴らしさには感激しました。

このような体験をさせていただいたおかげで、私は今までと違った気持ちで、日本に興味を持つようになりました。それは、子どもたちも同じ気持ちだと思っています。ありがとうございました。

## C グループ



稲田 明 アウミー

INADA AKIRA ALMIR



【トメアスー福岡県人会】

福岡でたくさんの良い思い出を作ることができました。福岡の有名な場所を訪れ、伝統的な文化体験もできました。プログラムも素晴らしいスケジュールで、宿泊先のグローバルアリーナは、とてもきれいで毎日美味しいご飯があり、留学生や引率者、子どもたちもとても喜んでいました。

私が自分のルーツを大切に思い始めたのは、昨年、福岡県移住者子弟留学生として日本へ来てからです。祖父母がブラジルへ行く前に住んでいたところを訪れたときは、懐かしい気持ちが溢れました。「これからもっと日本文化を学び、日本語も上手になりたい」と考え始めました。

このプログラムで一番印象に残ったことは、平尾小学校での交流です。子どもたちは書道を体験したり、小学生と一緒に給食を食べたり、遊んだり、教室の掃除も体験しました。日本でしか体験できないこの交流は、とても素晴らしかったです。また私も、他の県人会から来た子どもたちや引率者たちと友達になることができました。皆、住んでいるところは違うけれど、とても近くに感じました。文化の違いはありますが、言葉が通じなくてもすぐに仲良くなる子どもたちを見てみると、まるで昔から友達だったような感じがしました。お互いが友達になるためには、言葉や国籍の違いは関係がないことがわかりました。このプログラムに引率者として参加することができ、とても良い経験になりました。ありがとうございました。

## D グループ



小椋 リリアナ 小夜子

OMUKU LILIANA SAYOKO



【コロンビア福岡県人会】

このプログラムに参加し、素晴らしい体験をさせて頂いたことに感謝の言葉ありません。

日本では、このプログラムがスケジュール通りに進み、「日本に住んでいる日本人」が整然と組織的に生活していることが、私にとっては驚きであり忘れられない経験になりました。

また、私は福岡県人の子孫である幸運に感謝します。福岡県と、県知事や県議会の皆様のおかげで、福岡県人の子孫である私たちが、このプログラムに参加させて頂けたことは、本当にありがたいことです。これからもこのプログラムを継続して頂きますようお願いいたします。

このプログラム期間中は、参加者全員が責任と良識をもって過ごしておりました。多くの貴重な経験を通して、日本文化への理解が深まったと思います。今後もこのプログラムを継続することによって、日本と日本文化への理解が、日系人社会の中でより深まってくれと思います。コロンビアから過去に参加した子どもたちも、日本語と文化に興味を持って、日本語を学ぶ意欲を持って頑張っております。

大変お世話になりました。ありがとうございました。

## D グループ



高嶋 久子

TAKASHIMA HISAKO



【アルゼンチン福岡県人会】

この素晴らしいプログラムと、このプログラムの運営に携わっていただきました全ての皆様に、言葉では言い尽くせない感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

日系1世が開拓精神と共に子どもの教育・日本文化継承などの土台作りをし、2世、3世、4世の日系人に、日本人としての認識、誇り、自信を持って欲しいと願う気持ちは、祖国・日本への愛国心からくるものだと思っています。1世の意思を完全に網羅したこのプログラムでは、子どもたちは純粋にそれぞれのルーツの素晴らしさに目を見張った毎日でした。特に平尾小学校では、日本の行き届いた教育方針、伝統文化の書道体験や、給食、教室の掃除を子どもたちが経験できたことが素晴らしく、日本の生徒たちが自発的に全てを執り行う姿勢には感動しました。和太鼓交流でも子どもたちの気合いの入った演奏は、日本人としての心意気を感じ、素晴らしかったです。

この有意義なプログラムは、日系2世、3世、4世が持っている「自分はどこからきたのか？」という問いに見事に答えてくれました。そのおかげで、子どもたちが誇りと自信を持ち、それぞれの将来へと大きな一歩を踏みだすことができたと思います。そして自分たちが若きリーダーとして、アルゼンチンと福岡の大きな架け橋となることができる、と確信が持てたプログラムでした。

## E グループ



ツダ ミヤガワ マリエラ

TSUDA MIYAGAWA MARIELA



【ペルー福岡クラブ】

初めに、福岡県と国際交流センターの皆様にご挨拶申し上げます。私は2003年に福岡県移住者子弟留学生として福岡で1年間生活をしました。今回、7年ぶりに福岡に滞在でき、とても嬉しかったです。今私は保育士として働いています。ペルーから参加した2人の子どもの世話は大変なこともありましたが、皆でいろいろな経験をするのができて、興味深かったです。

太宰府天満宮や小倉城など日本の古い建物を見学したことや、特に、福岡市民防災センターの見学は、本当に良い経験でした。ペルーは日本同様の地震国なので、地震や火事がおきた時の対処法を学ぶことができました。

10日間はあっという間に過ぎました。山笠に参加できたことや、和太鼓体験やうちわ作りなどの日本文化を体験することができ、全てが素晴らしかったです。また、私の職業柄、小学校訪問では、日本の授業風景を見学することができて興味深かったです。

福岡での留学を終えて帰国してからは、日本語を使う機会が少なく、忘れてきていますが、また日本語の勉強を始めたいです。そして、和太鼓も練習したいと思っています。

## E グループ



林田 アナ 春美

HAYASHIDA ANA HARUMI



【メキシコ福岡県人会】

このプログラムは日系人子弟にとって、とても価値のあるプログラムだと思います。今回、引率者として参加したことで、日系人子弟である私たちにとって、ルーツである福岡を理解することや知ることがどんなに大切なことがわかりました。子どもたちだけではなく、引率者もこの経験を通して多くのことを学ぶことができました。

個人的には、市民防災センター訪問はとても印象的でした。火事や地震の疑似体験ができたことで、日本は災害についてとても訓練されている国の1つであると実感しました。そして、大島小学校訪問もとても感動的でした。大島は、都会から離れた町で、彼らの生活スタイルがそこにあり、大島の人々と山笠と一緒に参加したことで、彼らの優しさと強さを知ることができ、とても楽しめました。

また、このプログラムで、他の国から来た日系人と生活を共にできたことに、とても満足しています。私たちは、どの国で育ったかは関係なく、日本と母国の2つの文化を持つという同じ境遇を分かち合うことができました。このプログラムに参加する機会を与えてくださり、本当にありがとうございました。

## F グループ



クック シルヴィ

COOK SYLVI



【ハワイ島福岡県人会】

私は、引率者として、ハワイ島福岡県人会と福岡県の橋渡しとなり、ホームステイ先やその他の日本の方々との関係を築き、日本語を更に勉強して日本文化を学びたいと思っていました。私はこれらの目標を全て達成できたことを嬉しく思います。

また、平尾子ども太鼓グループとの交流の際に、グループに所属している子どもの母親と出会い、現在も連絡を取り合っています。その方は、英語の先生をされていますが、英語教室の生徒たちをハワイに招き、ホームステイしてもらおうとできないかという話も出ていて、日本で出会った人たちと友達になることができ、とても嬉しいです。

今回のプログラムで、私は日本語と日本文化が更に好きになりました。帰国後に私は自分の子どもを日本語教室に通わせ始めました。また私自身も、大学の日本語会話のクラスを受講することにしました。また日本へ行く機会があるので、日本語を勉強しながら楽しみにしています。

また、私はこのプログラムが今後も継続されることを希望します。このプログラムに参加することで、私はとても貴重な体験をすることができました。今後、ハワイ島福岡県人会の会員に、子どもや孫をこのプログラムに参加させることを、このプログラムが続く限り勧めたいと思っています。ハワイ島福岡県人会から私とマリッサがこのプログラムに参加したことで、私たち会員の間に県人会の活動に対する情熱が高まってきました。このプログラムに参加する機会を与えていただき、本当にありがとうございました。

# Report

## 参加者レポート 【福岡県移住者子弟留学生】

【2024年4月10日撮影】

【2024年4月10日撮影】

【2024年4月10日撮影】

【2024年4月10日撮影】

A  
グループ



今村 フラヴィオ アキラ

IMAMURA FLAVIO AKIRA



【ブラジル福岡県人会】

海外福岡県人会子弟招へい事業は私にとって、新たな経験でした。プログラム初日は、子どもたちは不安そうで、私も彼らのことがあまりわかりませんでした。子どもたちは私が話す事を真剣に聞いてくれて、更に毎日遅刻しないように時間通りに起きていて、とても安心しました。いろいろな国から子どもたちが参加していましたが、母国語は異なっても皆一緒にサッカーをしたりして、初日から最終日まで楽しく遊んでいました。

私のグループの3人の子どもたちは、日本の珍しい習慣に常に驚いていました。彼らの中では、平尾小学校での交流が一番心に残ったようです。特に、日本の小学校では、子どもたちが自分たちで学校を掃除することに驚いていました。日本の子どもたちは、自分たちが学校を掃除しなければならないので、学校を汚さないように生活することが習慣づいていました。「ブラジルの小学校全部が日本の小学校のようであれば最高だ」と子どもたちは話していました。また食事についても、子どもたちは初めて食べる日本食に感謝をしながら食べていました。

最後に、私が子どもたちに「プログラムはどうだった？」と聞いたら、全員が「楽しくて色々なことを学べた」と答えてくれました。

A  
グループ



内田 シベリ

UCHIDA CIBELE



【ブラジル福岡県人会】

このプログラムに参加した子どもたちは、初めは文化の違いや家族と離れていることなどから、少し不安そうでしたが、すぐに皆がお互いのことをよく知ることで、仲良くなりました。このプログラムは、全参加者（子どもたち、引率者、留学生）にとって、新しいことを学び、友達を作り、日本文化や外国文化を知るとても良い機会になったと思います。

また私は、言葉は子どもたちの交流の妨げにはならないことに気づきました。子どもたちは、それぞれの思いを、自分のできる方法で表現していました。大島の山笠祭りや平尾小学校の折り紙、書道、算数などの授業、平尾子ども太鼓グループとの太鼓交流などの文化行事を通して、日本文化や習慣に対する子どもたちの理解が深まり、感動しました。

このようなプログラムは、子どもたちが自分の祖先の国を知り、活動を通して見たことや経験したことを今後の人生で活かしていく上でとても重要だと思います。子どもたちは母国で、日本語や和太鼓などを学びたいと話しており、また福岡県移住者子弟留学生として日本に来てくれると良いと思います。

私自身も様々なことを学ぶことができ、新しい友達を作り思い出ができたので、このプログラムに参加させていただけた事を、本当に感謝しています。私も、参加した子どもたちも今回の思い出を一生忘れないと思います。

## B グループ



清水 エステバン 博史  
SHIMIZU ESTEBAN HIROSHI



【ブラジル福岡県人会】

海外福岡県人会子弟招へい事業が始まる1週間前、私は海老井悦子副知事を表敬する機会があり、副知事に、「海外から来る参加者に、日本と福岡の魅力を知ってもらおうお手伝いをしたいと思っています」と伝えました。プログラムが終わった今、この目標は達成されたと思います。それだけではなく、留学生として日本文化を深く学ぶ貴重な機会であり、自分の成長にも繋がったプログラムでした。また、子どもたちは、短い期間ではありましたが、小学校、博物館、神社やお城を見学し、日本はどのような国なのかを知ることができ、日本についての興味がさらに沸いたと思います。

今から数年後、日系人が自分たちのルーツを忘れてしまい、祖先の故郷である日本についての興味は完全に無くなってしまう可能性が高いと思います。私は、今回日本へ来た子どもたちが、学んだことを多くの人に伝え、自分たちの国と福岡を繋ぐ架け橋になってくれることを期待しています。そして周りの人たちに、良い影響を与えることができる立派な大人になって欲しいです。彼らは、日本で忘れられない日々を過ごし、笑顔で帰国しました。まだ子どもなので、自分がどんなに恵まれているのかを理解していないと思いますが、将来大人になり、日本へ来られたことは自分の人生にいかに重要なことだったかがわかると思います。また、この事業のためにご支援くださった福岡県と国際交流センターの方に本当に感謝しています。

## C グループ



松延 多美  
MATUNOBU TAMI



【ブラジル福岡県人会】

海外福岡県人会子弟招へいプログラムに参加させて頂き、誠にありがとうございました。短い期間でしたが、子どもたちと過ごしたこの10日間は、私の大切な思い出になりました。この事業を通して様々な人たちと触れ合い、いろいろな活動に参加させて頂き、子どもたちだけではなく、私も楽しく日本文化や習慣を学ぶことが出来ました。本当に貴重な機会を頂いたと思っています。

私はブラジルの女の子3人のグループの手伝いをしました。彼女たちには、日本で見る全ての物がきれいで珍しく見え、常に楽しそうで、私の方が元気を貰っていました。ただ、彼女たちは日本語が話せないことをとても残念がっていました。しかし、今回言葉が通じなかったことで、帰国後もっと日本語を勉強したいと言っていたので、これを機に勉強を頑張りたいと思います。また、小学校交流では、同年代の子どもたちと一日一緒に過ごす中で、日本とブラジルの学校生活を比較して、日本の子どもたちがどのような教育を受けて成長していくのか、そして日本の教育システムがあるが故に今の日本社会ができていくという事などについて、子どもたちと話をしました。平尾小学校での別れの挨拶で「日本の学校で勉強がしたくなりました」と子どもが言っていたことが印象的でした。

今回いろいろな国から参加した、福岡にルーツがある人たちと、この福岡で出会えたことは素晴らしいことです。「福岡にルーツがあること」は私たち参加者全員を繋ぐキーワードです。またいつか福岡で皆に会える事を願っています。



## D グループ



緒方 ディアナ おさえ

OGATA DIANA OSAE



【在ボリビア福岡県人会】

このプログラムに参加できたことは、私にとって素晴らしい経験となりました。今回ボリビアからの参加者がいなかったことは残念でしたが、他の国々から参加した子どもたちに出会えて良かったです。

私のグループはアルゼンチンとコロンビアからの参加者で、素直で明るく面白い、何も手がかからない子どもたちでした。日本語を上手に話すことができた女の子とは、プログラム期間中ずっと日本語で話をしていたので、私の日本語の上達にも繋がりました。プログラムの中で印象的だったことは、フェリーで大島小学校へ行き、子どもたちが大島小学校の子どもたちと一緒に、はっぴを着て山笠のお祭りに参加し「わっしょい、わっしょい」と大きな声でお神輿を引っ張ったことです。また、平尾小学校を訪れた際は、子どもたちは小学生と一緒に授業を受けることができ、書道や折り紙、算数の勉強をしました。私は書道の経験がないので、子どもたちと一緒に習いましたが、難しかったです。しかし、子どもたちは一生懸命練習して上手に書いていました。

このプログラムでは、福岡の多くの場所へ行くことができ、また、いろいろな国からの参加者と友達になることができ、本当に嬉しく良い思い出になりました。彼らと過ごした時間は楽しくて、一日がとても早く感じました。ありがとうございました。

## E グループ



真壁 川原 ヘラルド 幹夫

MAKABE KAWAJARA GERARDO MIKIO



【ペルー福岡クラブ】

海外福岡県人会子弟招へい事業は、教育的にとっても素晴らしく、私にとっても特別な体験でした。日系人とはいえ、特に南米の人たちは、人生で一度も日本を訪問することができない人もいます。そういう状況の中で、小学生で日本へ来て、日本の歴史や食事、生活習慣、同年代の子どもとの交流などを体験することができ、更にホームステイを通して実際に日本人の暮らしを体験できたことは、貴重な機会だったと思います。

10日間という短い期間ではありましたが、このプログラムに参加して体験したことが、今後の子どもたちの人生を大きく変えることになるでしょうし、福岡県と彼らの間に大きな絆が生まれたことと思います。また、子どもは大人に比べて言葉を覚えるのも早いので、日本語を覚え、福岡県移住者子弟留学生として、多くの参加者が福岡へ戻ってくると思います。

私たち留学生や引率者もこのプログラムを通して、多くのことを学ぶことができました。例えば、平尾小学校へ行ったことで、今まで知らなかった日本とペルーの学校教育の違いがわかり、福岡市民防災センターでは、日本が地震や火事などの場合の避難防止対策に力を注いでいる事を知りました。また、私は、福岡県がこのプログラムのために、大変な努力をされていることに驚きました。このプログラムの参加者はとても「恵まれた人」だと思います。今後もこのプログラムが長く続いていくことを願っています。



中村 イアラ 明美 デ アルメイダ

NAKAMURA IARA AKEMI DE ALMEIDA



【ブラジル福岡県人会】

この事業で私がサポートしたFグループは、南加とハワイ島からの参加者のグループでした。私は、日本語と英語の通訳の手助けをしました。とても難しかったですが、良い勉強になりました。多くの人に会い、様々な場所に行って日本文化を学ぶことができ、素晴らしい経験でした。

大島小学校や平尾小学校を訪れ、子どもたちは、日本の小学生と交流をすることができました。言葉の問題はありましたが、山笠への参加や、一緒に授業を受けたり、休憩の時間に遊んだり、和太鼓の練習などを通して、自然と交流ができていたことに驚きました。

また、海老井副知事を表敬した際は、副知事から子どもたちへ「頑張ってください」という言葉をいただき、彼らは国へ帰ってからその言葉を胸に、日本語を一生懸命勉強すると思います。

この事業に参加することで、子どもたちは日本語と日本文化を更に勉強したいという気持ちが強くなったようです。そして彼らは、日本・福岡で学んだことを、自分たちの友達に伝えていくことでしょう。私は、日本文化に興味のある人がもっと増えて欲しいと思っていますので、この事業に参加できたことにとっても感謝しています。子どもたちが将来、福岡県移住者子弟留学生として日本に戻ってきてくれることを楽しみにしています。

# 福岡県の海外県人会について

## 福岡県の海外移住

### (1) 海外移住の始まり

明治18年（1885年）のハワイ移住により始まりました。

### (2) 海外移住者総数（自由移民を含まず）

戦前（明治32年から昭和16年） 51,240人（全国比7.8%）

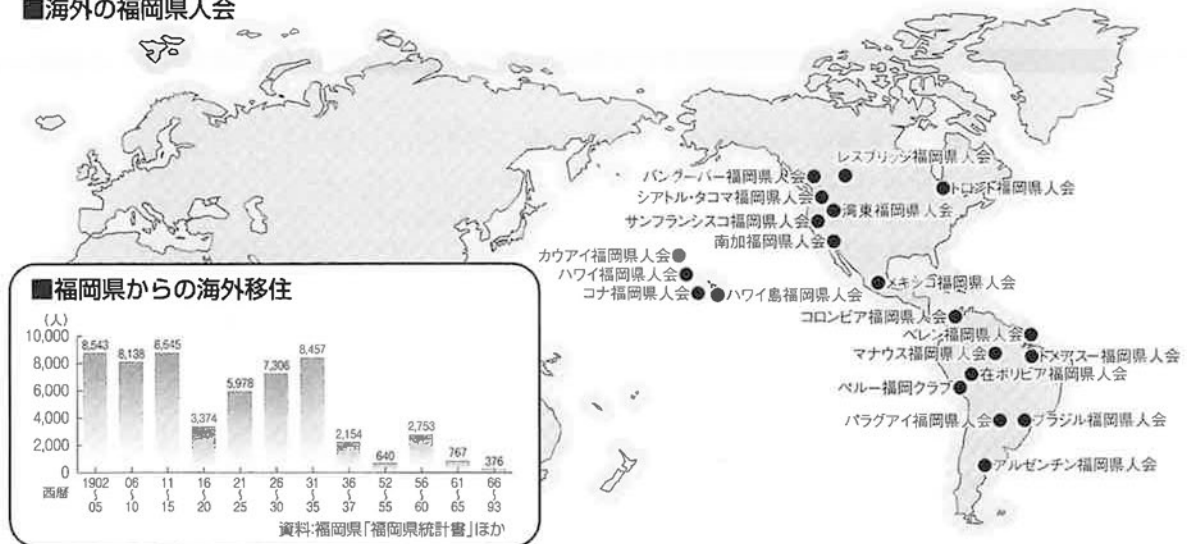
戦後（昭和27年度から平成5年度） 4,536人（全国比6.2%）

※戦前・戦後計 55,776人（全国第4位）

第1位	広島	98,975人
第2位	沖縄	79,454人
第3位	熊本	72,699人
第4位	福岡	55,776人
第5位	山口	47,430人

## 海外の福岡県人会

### ■海外の福岡県人会



アルゼンチン共和国	アルゼンチン福岡県人会	カナダ	トロント福岡県人会	アメリカ合衆国	ハワイ島福岡県人会
ボリビア多民族国	在ボリビア福岡県人会		バンクーバー福岡県人会		カウアイ福岡県人会
ブラジル連邦共和国	ベレン福岡県人会	コロンビア共和国	コロンビア福岡県人会		コナ福岡県人会
	ブラジル福岡県人会	メキシコ合衆国	メキシコ福岡県人会		南加福岡県人会
	マナウス福岡県人会	パラグアイ共和国	パラグアイ福岡県人会		サンフランシスコ福岡県人会
	トメアスー福岡県人会	ペルー共和国	ペルー福岡クラブ		シアトル・タコマ福岡県人会
カナダ	レスブリッジ福岡県人会	アメリカ合衆国	ハワイ福岡県人会		湾東福岡県人会

海外県人会 9ヶ国21県人会

## 海外福岡県人会子弟招へい事業 実施要綱

### (目的)

第1条 海外福岡県人会会員の子弟を本県へ招へいし、様々な体験を通じ、福岡・日本に対する関心や興味を高め理解を促すことにより、今後の県人会活動の一翼を担い、福岡・日本との交流の核となる後継者を育成すること、併せて県人会の活性化を図るものである。

### (事業の実施)

第2条 この事業は、関係機関で構成する海外福岡県人会子弟招へい事業実行委員会（以下「実行委員会」という。）が実施する。

2 実行委員会は、国際交流局交流第二課長、青少年課長、義務教育課長、財団法人福岡県国際交流センター専務理事をもって組織する。

3 実行委員会の委員長（以下「委員長」という。）は、財団法人福岡県国際交流センター専務理事をもって充てる。

### (会議)

第3条 実行委員会は、委員長が必要に応じて開催する。

2 実行委員会は、第4条に規定する事業について協議し、決定する。

### (事業)

第4条 実行委員会は、海外福岡県人会子弟招へい事業（以下「招へい事業」という。）の実施にあたり、次のことについて協議し、決定する。

(1) 事業計画と事業予算の決定

(2) 招へいする子弟及び引率者（以下「招へい者」という。）の決定

(3) その他、この事業の実施に関し必要と認められる事項  
(招へいする子弟の条件)

第5条 子弟は次の各号に掲げる条件を備えるものとする。

(1) 招へい事業の目的を理解していること

(2) 海外福岡県人会会員の子弟であること

(3) 年齢は招へい期間中に原則満11歳であること

(4) 各自で親戚宅等のホームステイ先を原則確保できること

(5) 心身共に健康であること

(6) 日常の身の回りのことが一人でできること

(7) 自国の文化や社会、生活様式について紹介ができること

(8) 募集要項に定める注意事項を遵守できること

(9) 以前に当プログラムに参加したことがない子弟であること

### (引率者の参加条件)

第6条 招へいする子弟は引率者が帯同するものとする。

2 引率者は次の各号に掲げる条件を備えるものとする。

(1) 招へい事業の目的をよく理解していること

(2) 招へい期間を通じて子弟の指導や援助ができること

(3) 海外福岡県人会の会員であること

(4) 招へいする子弟の原則祖父母、父母、兄、姉、伯父（叔父）、伯母（叔母）ではないこと

(5) 年齢は招へい期間中に原則20歳以上50歳未満であること

(6) 日本語でコミュニケーションがとれ、子弟とホストファミリーその他の関係者との間の通訳ができること

(7) 各自で親戚宅等のホームステイ先を原則確保できること

(8) 事業終了後、海外福岡県人会活動に積極的に参加すること

(9) 以前に当プログラムに参加したことがない引率者であること

### (申請書の提出)

第7条 招へい事業の参加希望者は、招へい事業参加申請書（様式第1号）もしくは引率申請書（様式第2号）に親権者の承諾書（様式第3号）を添え（親権者の承諾書の添付は子弟の場合のみ必要）、海外福岡県人会長（以下「県人会長」という。）に提出しなければならない。

2 県人会長は、前項の申請書の提出があったときは、推薦書（様式第4号）を添えて、委員長に提出するものとする。

### (招へい者の決定)

第8条 委員長は、実行委員会の中に、招へい者を決定するため、海外福岡県人会子弟招へい者等選考委員会（以下「選考委員会」という。）を設置する。

2 委員長は、選考委員会の選考結果の報告を受け、実行委員会で招へい者を決定する。

3 委員長は、招へい者を決定した場合、すみやかに招へい者に対し、県人会長を通じて、招へい事業参加決定通知書（様式第5号）を交付する。

### (選考委員会)

第9条 前条の選考委員会の委員は、国際交流局交流第二課長と財団法人福岡県国際交流センター専務理事とする。なお、必要に応じて委員長が別途委員を指名することができる。

2 選考委員会は委員長が必要に応じて開催する。

### (経費)

第10条 招へい者の往復の航空運賃及び福岡での滞在に係る経費については、実行委員会が負担する。

### (事務局)

第11条 実行委員会及び選考委員会の事務を処理するため、事務局を財団法人福岡県国際交流センターに置く。

2 事務局長は財団法人福岡県国際交流センター事務局長をもって充てる。

### (その他)

第12条 この要項に定めるもののほか、実行委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

### 附 則

この要綱は、平成20年1月17日より施行する。

### 附 則

この要綱は、平成21年2月17日より施行する。

### 附 則

この要綱は、平成22年2月8日より施行する。

Short Term Visit Program  
for Young Descendants of Immigrants  
from Fukuoka Prefecture 2010.7.11~21

平成22年度 海外福岡県人会子弟招へい事業報告書

主催◎海外福岡県人会子弟招へい事業実行委員会

発行◎平成23年3月